



メディカル・ヘルスケア事業創出講座

第1回

ヘルスケア・医療デバイスにおけるAIの活用

AIを医療の世界に活用するとき、開発シーンでは技術理論にフォーカスして医療上の価値に実装されていないものになりがちです。再生医療もロボット、デジタル、マテリアル、検査技術等と繋がっています。デジタルの治療薬、ヘルスケア、医療機器に関する全体を体系的にとらえ、それを支えていけるようにアートの側面からリ・デザインすることが大切です。本セミナーでは医工連携によるAI医療として、医療とアートの融合と、実感のある開発及びレギュレーション、そしてAI医療機器開発の出口となる仕組みを考えます。

開催日 2022年 **12月7日** (水) 13:30~17:00

開催形式 オンライン (Zoomウェビナー) **受講料** 5,000円 (税込)

第1部 13:30~15:10 医療機器の変遷とAIの関わり

1. 「3D画像認識AIによる革新的癌診断支援システムの構築」

橋本 英樹 氏 (株式会社プロアシスト R&D企画部)

これまで目視に頼っていたがん細胞診断を、細胞の3次元形状計測とデータベース構築および診断の機械学習により自動化します。これにより、高速・高精度ながん細胞診断支援システムを開発し、世界中の誰もがどこでもがん診断を受けられる社会を実現します。



2. 「AIを活用した医療機器の変遷、医療とアートから見る人間とAI (1)」

吉川 典子 氏 (NPO医工連携推進機構 コーディネーター/客員研究員)

医療機器は常に進化をしています。その中で、人工知能(AI)がどのように取り入れられてきたかを紹介し、AIの活用とは何かを様々な角度から解説します。ヘルスケアや医療に役に立つようにAIを活用するにはコンセプトメイクが大変重要です。コンセプトの持つ意味についてわかりやすく解説したあと、人間の行動の理解とアート思考について紹介し、研究開発から社会実装の一助となるようにします。



第2部 15:20~17:00 医療機器のコンセプト・人間領域の理解とアート思考

3. 「AIを使う医療機器・サービスのレギュラトリーサイエンス/開発のポイント」

鎮西 清行 氏 (産業技術総合研究所 健康医工学研究部門 副研究部門長)

AIは不思議です。古典的な医療機器ではその機能を設計し、安全を確認します。それに対してAIは、データを集めて学習させるうちに設計者が望む挙動をするものが出てくるので、それを選んで「育成」します。AIは魔法ではありません。設計者のAI育成法によってはバイアスのかかった不完全なものになってしまいます。AI医療機器の開発にあたって知っておくべき事項について、AI-CAD開発ガイドライン・評価指標などをもとに解説します。



4. 「AIを活用した医療機器の変遷、医療とアートから見る人間とAI (2)」

吉川 典子 氏 (NPO医工連携推進機構 コーディネーター/客員研究員)

お申込み 下記いずれかよりお申込みください。(申込み締切:12月5日)
 <Peatix> <https://copel-medical-ai2022.peatix.com>
 <Googleフォーム> <https://forms.gle/8aqEKxrGuuQp19zd8>



お問合わせ 株式会社COPELコンサルティング E-mail event@copelcs.jp

<主催> 株式会社COPELコンサルティング

<後援> 神戸リサーチコンプレックス協議会